

6日(明日)から飛行訓練を開始 日本の空にオスプレイ飛ばすな 関東一帯が危険な訓練空域になる

防衛省は10月30日、ティルトローター機V-22オスプレイの飛行開始について、「陸上自衛隊は、令和2年7月10日(金)にティルトローター機V-22オスプレイを木更津駐屯地において受領して以降、段階的に点検・整備を行って(中略)11月6日(金)以降、順次、飛行を開始してまいります。」と、発表しました。最初の飛行は6日10時半から木更津陸自駐屯地内でホバリング訓練をおこないます。場外飛行は11月10日以降の予定で、駐屯地や関東周辺に飛行の範囲を広げる方針です。

安保破棄中央実行委員会は9月末、防衛省交渉・要請ではオスプレイの木更津配備撤回を求めるとともに、千葉県及び関東一帯での飛行、特に住宅、学校、幼稚園・保育所、病院などの上空の飛行はおこなわないこと、関係自治体が要望する、飛行に関する情報を事前に周知することを求めています。



木更津の陸自オスプレイ

木更津の「住民の会」は6日、抗議と監視行動を次のように計画しています。

- 6日(金)10時 中の島公園駐車場(木更津駅西口から徒歩10分) 集合
- 10時10分～中の島大橋へ移動
- 10時25分～リレートーク 監視、抗議
- 10時30分～ホバリング開始を監視
- 11時30分～移動



オスプレイ墜落の部品を運ぶ米軍

戦後、沖縄をはじめ全国各地でレイプ、殺人などの事件、米軍機墜落などの事故、さらに、爆音・騒音などの被害が絶えません。この背後には、日米地位協定の問題点があり、それを明らかにし、総がかり行動実行委員会の主催で、日米地位協定問題のオンラインシンポジウムを開きます。

日米地位協定問題
オンラインシンポジウムに参加を
議員会館からYouTube配信

11月25日(水)
午後2時～4時
前泊盛博さん
(沖縄国際大学教授)
吉田敏浩さん
(ジャーナリスト)
寺崎昭義さん
(弁護士・日弁連)
各野党国会議員

お知らせ

常任幹事会(オンライン会議)11月12日(木)午後3時～

- ① ZOOMでのオンライン会議のため、11月11日までに参加申し込みをお願いします。申し込みがあった方に全労連からURL、参加ID、パスコードを送信します。
- ② 会議入室の際、団体・参加者氏名の表示をお願いします。

米大使館、在日米軍への環境法令適用を拒否
共同通信収集の公文書館の史料で判明

共同通信」は、在日米軍基地周辺の環境汚染や騒音被害が問題化していた1977年、米政府が日本の環境法令を在日米軍に適用し、公害除去などに向けた施設改善を行うことを検討した際、在日米大使館の反対で実現しなかったことが26日、分かった。」と配信、また「日本の環境法令に従えば、飛行訓練など米軍の行動が制限されると指摘したほか、日本の基準を満たすのは高額で時間がかかる」としていた。」とも述べています。

共同通信」が収集した米国立公文書館の文書で判明したというもので、米軍機の騒音に関して在日米大使館は、日本の法令を守るの恐らく不可能」とも説明していた」とも紹介しています。77年9月から10月に米国務省と在日米大使館がやりとりした複数の公文書では、米政府は在外米軍基地での環境問題への取り組みとして現地の法令を米軍とその施設に適用し、受け入れ国の同意を得て米軍の環境保全義務の明確化や公害防止のための改善計画を立案することを検討しました。

この検討に、在日米大使館は、日米地位協定に基づき、非公開で参加者が限定された日米合同委員会で環境問題を協議することにより日本の世論の「政治的圧力」を回避できていると説明したそうである。

日本国憲法の上に、日米安保・日米地位協定が、国会の上に日米合同委員会があるといわれている「闇」の実態の姿です。

≡浦半島阻止連ニクス3262号より≡